

1月17日センター試験の前日、81名の受験者に対して激励会が行われました。私からは、「最後まで諦めない。できる問題から取



組む。いろんなことを想定しておく。集中力を持続する。」という話をさせていただきました。座席の位置や周りの雰囲気飲み込まれないように、落ち着いて自分の力を出すことです。大橋主任からは、「100%の力を出さなければと思うより80%くらい出せたらよいくらいの気持ちで行こう。慌てずやってきたことをしっかりと出し切る。」という話がありました。藤原進路指導

部長から細かな注意がなされいよいよ本番を待つだけとなりました。迎えた本番当日、3年生の先生方が、受付付近で生徒たちの激励をされていました。20日は自己採点。自分の点数をしっかりと受け止めて次に向かいましょう。お疲れ様でした。



1月17日には加東市観光協会と河高郵便局の方が加東市記念切手シートの完成披露に校長室を訪ねてこられました。21日にプレス発表ということでそれまでは内緒にということでしたので、今号に掲載させていただきますが、観光協会からの依頼を受け、美術部員の描いた加東市の観光地等が切手の原画となりました。2月3日から発売されるそうなので、ふる

ってお買い求めください。美術部員達には一足早く切手シートがプレゼントされました。昨年夏休みに取り組んだそうですが、モチーフについて日本郵政の審査が厳しく許諾を取るのに時間がかかったと観光協会の方がおっしゃっていました。美術部員たちは自分たちの作品が切手になるという素晴らしい経験をさせていただきました。関係の皆様へ感謝申し上げます。



1月19日は、カレーフェアがやしろショッピングパークBioで開催され、地域の特産品を使用したレトルトカレーの食べ比べが行われました。私は、本校生徒がお手伝いさせていただいている三木のバジルカレーと加東の桃を使用したキーマカレーそして今回初めてお目見えする黒田庄牛を使ったギュギュッとカレーを試食しました。他には多可の百日鶏や朝来ジビエ

カレーもありました。入り口でご飯を買ってそれぞれのブースで紙コップにカレーを入れてもらって食べる形式でした。どのカレーも特徴があり、おいしくいただくことができました。カレーだけに子供連れの方もたくさん来られており、開店当初は行列ができるなどかなりの賑わいでした。お疲れ様でした。



また1月19日には東播地区予選を突破した吹奏楽部が金管8重奏で県大会に出場していました。吹奏楽の大会時は、写真撮影が禁止されており、演奏風景は撮影できません。打楽器、木管とそれぞれ特徴のある曲を選び、レベルの高い演奏が続いていました。本校も難しい曲にチャレンジしていたようですが、修学旅行明けにもかかわらずまとまりのある演奏を披露。銀賞に輝きました。終わった後、挨拶に来てくれた顔には満足感が一杯あふれていたのとても良かったです。この経験をまた夏のコンクールに活かしてもらいたいです。引率の先生方もお疲れ様でした。

1月20日は近畿地区高等学校長協会連絡協議会、21日には近畿地区高等学校長協会人権連絡協議会が兵庫県で開催県として開催されましたので参加させていただきました。20日には、兵庫教育大学加治佐学長が「これからの高等学校教育と大学教育」というテーマで講演されました。教員採用試験受験者の減少から教職の魅力や楽しさを伝えることをしていかなければならないこと少子化に伴う公立高校の配置や規模の適正化など今後問題となるであろうことについてどのように向かっていかなければならないかということを中心に話されました。その中で校長自らが明るい前向きな言動や雰囲気を作ること、透明性公平性に常に留意すること、自分を原因とするハラスメントに留意すること、学び続ける校長を見せることといった非常に私にとっては重要なことを話していただき、今まででも考えてきたことではありますが、今後の指針として常に気に留めておかねばならな

いのだと思いました。また教師に求められる能力として社会の変化を理解する能力、ICTを活用した指導力、多様な意見や学びあいを引き出す力など働き方改革の推進とともに、私たちがいかに準備をして学ぶ姿勢を持ち、変化に対応できるようになっていかねばならないことも話をされました。学校がどのような形になっていくのか見えない中、今いる生徒を、これから入学してくる生徒一人一人をしっかりと見て、その力を伸ばすことに全力を注ぎ続ける中で見えてくることもあるのかもわかりません。そういったことを感じた連絡協議会でした。21日は



大阪市立大学教授の朴一先生が「外国籍住民との共生社会を考える」というテーマで講演されました。朴先生自身もご自身の就職の際には国籍の関係からなかなか決まらず大学院に進んだことで今の仕事に就けたという話をされていました。安倍政権が外国人労働者の受け入れに関して指針を出されたのですが、そのことにも触れ

日本がもっと変わらなければならない旨のことを話されており、確かに社高校の周りでも外国人労働者の方が自転車に乗って通学の時間帯に一斉に工場に向かっていく姿を見ると、私たちの身の回りの変化も受け入れ態勢を含めて少子化の問題＝労働力の問題として受け止め、考えていかねばならないことが多いと実感させられた次第です。ご自身の経験をもとに話されましたので、とても具体的でよく理解できました。共生を考えると言葉でいうのは簡単ですが、そのための準備や法の整備、社会の考え方の変化への対応力を身に着けること等しっかりと自分たちの生活を考えていかねばなりません。この2日間の出張で多くのこと考えさせられました。

学校の方では、3年生の卒業考査が始まり、いよいよ卒業に向けた準備が加速していきます。来週からは自由登校になります。卒業式まで気を緩めず、社高校生として恥ずかしくない行動をとってください。また、それにとともに看護医療類型、体育科、生活科学科と課題研究発表もあります。しっかりと高校生活のまとめをして立派な姿を見せてほしいと思います。先週末にはサッカーの県新人大会があり男女とも初戦敗退を強いられました。県総体に向け今一度しっかりと立て直しを図り次に進んでほしいです。今週末には柔道の近畿大会が始まります。こちらは経験を積み、兵庫で開催される全国総体に向け準備を進めてください。

1月も早いもので半ばを過ぎました。兵庫県にはなかなか雪も降らず、体育科のスキー実習も心配されるところですが、まだまだ寒くなってきますので体調を崩さないよう気を付けて1年間のまとめをしていきましょう。